



神奈川県指定特定非営利活動法人 grand-mere

# グランメールだより

第10号

令和4年12月21日発行

夜暗くなると、街のあちこちにイルミネーションが輝く季節となりました。クリスマスからお正月準備と、大人にとっては何かとあわただしい一か月ですが、子どもたちにとっては一番楽しみな月かもしれませんね。今回は「身体の発達と支援」をテーマに理事長佐藤がお届けします。



早いもので激動だった2022年も幕を閉じようとしています。

2020年1月から始まった新型コロナウイルス感染症は、今もまだ終息とはいかないまま、残念ながら子どもたちや私たち大人の生活にも少なからず影響を与えています。

その中でも顕著に表れているのが、子どもたちの身体への影響です。長引くマスク生活の為、呼吸が浅くなるとともに子ども同士の会話も少なくなり身体のみならず、コミュニケーション能力の低下にも繋がっている記事をよく目にします。

実際、療育に来ている子どもたちや保育所等訪問支援で会う子どもたちの姿勢や体育の授業の様子等を見ていると、じっと座ってられない、まっすぐに並んで歩けない子が増えているように感じています。

先日、子どもの療育支援を行っている理学療法士（博士）とお話したところ「発達障がいの子供たちは、体幹が弱いことが多く、感覚にも問題を抱えることがある点も相まって、姿勢が悪くなったり力の調整が苦手だったりするため、机にもたれたり、足を曲げて体に近づけ、支えを増やしたりする。体幹を強くすることで、椅子に座っていられる時間が長くなったり、集中できる時間が増える可能性もある。」とのことでした。

昨年度よりグランメールの療育にも毎週運動を入れ、バランス感覚や体幹を意識した動きを行って来ました。また、8月末には、ベテランの理学療法士をスタッフに迎え、肢体不自由の利用者や体の使い方が気になる利用者への療育を行っています。

私たちは、鉛筆を持って文字を書くことやハサミや糊等の道具を使うことを療育の中で行います。しかし、よく考えてみると、自分の体のどの部分を意識して動かすことができるかを見る必要があることに気づかされます。例えば、腕を上下に動かすことや回すこと。両足で飛び上がることができるのか。はたまた、大人の動きを見てマネすることができるのか。そこが育っていない子に文字を上手に筆順を意識して書くことは、至難の業です。

子どもたちが、生まれて立って歩くまでに1年以上の時間がかかるように、まずは、自分の身体をコントロールできる力を養うことが大切だと考えます。

私たち大人は、子どもたちが何を思い、何をみつめ、どう理解しているのかを彼らの動きや視線から感じ取り、支援していく必要があるといつも思っています。

様々な角度から、一人ひとりの子どもたちを見つめ、自分の意志を持って学んでいけるような支援を目指し、今後もコロナに負けない心と身体作りのために、日々充実した時間を提供する努力をしていきます。

## 【後期懇談会のお知らせ】

グランメールでは保護者の方を対象に、療育の様子や制度等についてお伝えする機会として、年に2回懇談会を開催しています。後期懇談会では、今年度の振り返りの他、理学療法士や言語聴覚士による専門的な療育の提供方法など来年度の療育運営についてご説明を致します。また、**来年度の利用申込書**もお配りする予定です。是非、奮ってご参加ください。

日時： 2023年1月17日(火) 10:00~11:30

場所： えびな市民活動センター ビナレッジ3階会議室 (海老名市さつき町51番地の2)

grand-mere	児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援	海老名市浜田町22-9	TEL046-240-6232
grand-mere patrie	児童発達支援・放課後等デイサービス	海老名市社家6-22-46	TEL046-244-6956
grand-mere adorer	児童発達支援・放課後等デイサービス	海老名市中新田1-13-19	TEL046-206-6605